

## 公園 DE 認知症予防

認知症予防推進員の会「居場所づくり」グループ

### ○企画概要と進行状況

公園に設置している健康遊具や健康体操「フリフリグッパ」について高齢者に知ってもらい、その中で身近な仲間とおしゃべりで情報交換をしていけるような場所をつくっていく。現在イベントは8回開催しており、412名の方が参加し目標を達成できた。新規団体も3つでき、順調な滑り出しの中、課題も見えてきたので、検討していきたい。

### ○審査員のコメント

Q. このような体操は定期的に繰り返すことが大事だと思う。現在は場所を変えているが、今後の展望は？  
A. 訪問した各場所で、体操のグループを作って自立してほしい。事務局になってくれる人がいないのが課題である。  
・引きこもりの人たちが課題だと思うので、ひと工夫してほしい。



Q. 12月以降の活動は？  
A. 19箇所の敬老館に4回シリーズでまわっていきなりたいと思っている。  
・イベントの他にも作戦会議をしていくとよい。

## ベンチがあるまちなかの楽しい公園の様な散歩道

練馬地域福祉ハートフルアクターズ

### ○企画概要と進行状況

楽しい公園の様な散歩道として、お年寄りが気楽に腰掛けられるベンチの設置を行っている。今年は20台ほど追加しようと考えている。7月頃まではベンチを置いてもらう商店の交渉を行った。設置は1月に予定しており、既に業者に発注済みである。

### ○審査員のコメント

Q. ベンチの管理状況は？  
A. 我々が常に状況を見守り、具合の悪いところは修理している。  
Q. 商店街とのタイアップとは？  
A. 商店街のクリスマスセールとタイアップして、子供たちを対象にクイズを行ったり、絵を書いてもらったりして、景品も出すような企画を考えている。現在、商店街と話し合いをしているところである。  
・ベンチを置き続けるのではなく、ソフトも含めて地域に貢献するような次の展開を考えてほしい。

・今後の展開として、マップづくりのグループとの連携も考えてみるというのでは。



## 「緑で元気になろう！」プロジェクト

練馬ふくしの輪

### ○企画概要と進行状況

みどりを通して地域を元気にする活動  
大泉特別養護老人ホームが中心になり、地域の方とともに庭の作業をしている。みどりを増やす作業を通じて、地域を元気にするネットワークづくりをする。人員の確保については、地域のイベント等に参加し、チラシなどの配布により関心のある人を集めるように努力している。また、苗バザーによる苗の販売等をおこない資金確保に努めた。今後は、寄せ植え教室や匂いのない腐葉土の販売などを行う予定。人的交流については、都立大泉高校や関町特養と相談や打ち合わせを行い、今後は共同で活動をしていくためのスケジュール調整を行う。

### ○審査員のコメント

・今後は地域の小中学校のPTAへも声掛けを。  
・草木の手入れや土いじりをしたい人もいると思うので、広く呼び

かけを続けてほしい。



## 地域と障害者をつなぐステップ・ガーデン

ステップ・ガーデン

### ○企画概要と進行状況

知的障害者を中心に障害者の支援活動や地域の人たちと交流の場づくりをめざしている。今回助成を受けてエアコンと卓球台、ピアノ、フンタッチスロープを購入した。エアコンは猛暑だったせいもあって当初の1台から2台に増やした。卓球台は順番待ちするほどの人気で、11月から地域の人たちにも開放することになった。ピアノ演奏のゴスペル講座も開催している。障害者の親も来店されるようになり、各種の教室や講座を通して地域の方たちとの交流も広がるなど地域に根ざした場所になってきたように思う。

### ○審査員のコメント

Q. 障害のある人と地域をつなげる事が一番の目的と思うが、どれ位の方が来ているのか？  
A. 障害のある方は5人位、地域の方は10人位が来ている。ただ、

ボランティアは交通費など経費の関係で常時頼めず、不足気味である。

Q. 教室や講座のスケジュールは？  
A. 第2土曜お菓子教室、第3土曜しゃべり場、第4土曜料理教室のほか、トルペインテング（月曜）やゴスペル講座（金曜）を開催している。



## 審査委員長の講評から

まちづくりというのは、そこに息づく「人」というのが、主役であると思います。その人と人がつながっていくことは、とても大切なことです。その中で、今回会場を見渡してみると、来られた人の中で若い人が非常に少ないです。小学生や中学生など子どもたちもここに来て、自分たちの将来のまちを大人と一緒に考えていけるような場に発展して欲しいと考えています。特に、これから子どもたちが皆さんの想いを引き継いで、練馬のまちをいいまちに引き継いでいってほしいです。

この場を生きた教育の場にしていってほしいです。これからの活動の中で若い人たちが皆さんの想いを引き継いでいけるような取り組みにもつながっていただければ、大変うれしく思います。

（文責：地域福祉課）

## 各グループから挙げられた今後の課題

- 人
  - 人材確保
    - 会員増加、人材確保、ボランティア不足など
    - 専門家の活用
      - 地域と障害者を結びコーディネーターの存在など
    - 人材育成
      - 質の向上、指導者の育成が不足など
- お金
  - 資金確保
    - 活動資金づくり、運営費不足など
  - 助成金の使い勝手
    - 助成金についての決定と報告の負担、科目外の思わぬ需要など
- もの
  - 活動資源の確保（場所・機器）
    - 活動場所と機器と環境の確保など
- コミュニケーション、広報
  - グループ内でのコミュニケーション
  - 地域との関係、一般参加者の確保

## まちなか「ほっとベンチ」設置

練馬駅南口ほっとベンチ協議会

### ○企画概要と進行状況

これまで数回の打ち合わせを10名程度で行ってきた。ベンチのロゴマークが変わった。ベンチカバーの写真やイラストをお店に合わせたものにしてほしい。前回審査員の方からイベントでも活用したらどうかとアドバイスがあったので、縁日でベンチを置いたりしている。11月の酉の市でも活用したいと思っている。目に良い仏さんがおり年配の方が多く来られるので、商店会のベンチも移動させて活用したい。11月はおとり様のイベントがあるため、12月にプランターを設置したい。違法駐輪を解決しないとベンチを置けないので、違法駐輪の対策を行っている都市整備公社とも相談しながら進めていきたい。

### ○審査員のコメント

Q. 昨年よりも地域が広がったことで、どのような効果があったか？  
A. エリアが広がって、交流も広がっている。対象地域の中には、お

とり様や、びよびよ、保健所などがあるので、障害を持った方など色々な方が来る。区役所のそばの商店街でもあるし、今後福祉の面をもっと広げていけたらと思っている。

